



● 平成 29 年度入学式を挙行



学長式辞の様子

4月5日 水曜日、天久保キャンパス講堂において、平成29年度筑波技術大学入学式を挙行いたしました。

入学式では、学部69名(産業技術学部47名、保健科学部22名)及び大学院技術科学研究科14名(産業技術学専攻6名、保健科学専攻2名、情報アクセシビリティ専攻6名)の入学が許可されました。

続いて、大越学長から「大きく変化する社会の中で、皆さんが自立し、活躍するために、大学生活を通して身につけていただきたい「力」があります。その4つの「力」を本学の教育や活動と合わせて紹介します。

- 「アクティブ・ラーニング」によって養われる「課題解決力」
- 「グローバル人材」に欠かせない「コミュニケーション能力」
- キャリア教育を通して高められる、目標達成のための「やり抜く力」
- スポーツや課外活動での活躍で得られる、生き生きとした「人間力」

新しい友人関係を築き多くの出会いの中で、皆さん一人ひとりがこのような「力」を身につけ、卒業や大学院の修了の春を迎えた時に「筑波技術大学に入学して良かった」と思えるような、有意義な大学生活を送っていただけると

とを切に願っております。」などの式辞の後、両学部入学学生代表による入学宣誓がありました。

引き続き、来賓の一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長の石野富志三郎氏、元筑波技術短期大学長の西條一止氏からそれぞれ祝辞がありました。

(総務課総務係)



入学宣誓の様子

産業技術学部 大西 龍星さん(左)
保健科学部 片山 博貴さん(右)

● 平成28年度学位記授与式を挙行

3月17日 金曜日、天久保キャンパス講堂において、平成28年度筑波技術大学学位記授与式を挙行了いたしました。今回、学位記を授与されたのは、産業技術学部50名、保健科学部30名、合わせて80名の学部卒業生及び大学院技術科学研究科8名の修了生でした。

学位記授与式では、大越学長から卒業生及び修了生一人ひとりに学位記が手渡された後、式辞がありました。引き続き、一般財団法人全日本ろうあ連盟理事長の石野富志三

郎氏及び元筑波技術短期大学長の西條一止氏からそれぞれ祝辞がありました。これに対し、卒業生及び修了生を代表して、それぞれ謝辞が述べられました。

卒業生、修了生のこれからの更なるご活躍をお祈りいたします。

(総務課総務係)



学位記授与式の様子

● 学生の活躍

パラクライミング日本選手権大会 2017 で優勝

保健科学部情報システム学科2年の會田祥君が、明治大学和泉校舎体育館で開催されたパラクライミング日本選手権大会2017の視覚障害カテゴリーB2において1位となり、本大会で2連覇を果たしました。また、同学科2年の星野隼人君が同大会に初出場ながら視覚障害カテゴリーB3において3位となりました。2人がメダルを獲得できたのは、昨年から本学に設立されたクライミングサークルにおいて

着実に練習を重ねてきた努力が実を結んだ結果だと思えます。スポーツクライミングが東京オリンピックの正式種目となり、パラクライミングがパラリンピックの種目となる方向で検討されている状況で、今後、本学学生の活躍が期待されるところです。

(情報システム学科 坂尻 正次)



會田君(左)と星野君(右)との表彰後の記念撮影



會田君が決勝でゴールに到達した瞬間

国境を越えて一座建立

2月19日 日曜日、天久保キャンパス学生サークル AtoZ 茶道部は、千葉大学園芸学部への依頼により、JST サクラ・サイエンスプログラムで同学部へ短期滞在している韓国ソウル市立大学の学生9名と教員1名の合計10名を招いてお茶会を開催しました。会場は千葉大学園芸学部隣接する徳川家ゆかりの戸定が丘歴史公園内にある松雲亭です。普段は学内共用棟の和室で電気を使って稽古をしている部

員たちですが、本格的なお茶室で初めて炭火を体験しました。畳も普段より大きな京間でしたが、変化に動じることなく、お点前を披露しました。参加した学生は、障害に関わりのない場で国際交流ができて、貴重な体験になったと喜んでおりました。

(障害者高等教育研究支援センター 松藤 みどり)



茶道の様子



集合写真

● 海外研修を実施

ロチェスター工科大学、国立聾工科大学（アメリカ）

2月18日 土曜日から2月28日 火曜日にかけて、大学間交流締結機関であるロチェスター工科大学と国立聾工科大学を訪問し、学生の米国東部研修を実施しました。この研修は、「異文化交流コミュニケーション」という授業の一環で、毎年、国際交流委員会が企画しているもので、今回は松本 建身さん、大嶽 翔さん（いずれも産業技術学部産業情報学科・2年）、田中 夏希さん、安田 真綺さん（いずれも産業技術学部総合デザイン学科・2年）、岡田 雄佑さん（大学院技術科学研究科情報アクセシビリティ専攻・1年）が参加しました。引率教員は、白澤 麻弓准教授と大鹿 綾講師（いずれも障害者高等教育研究支援センター）の2名で、本学が行っている筑波聴覚障害学生高等教育テクニカルアシスタントセンター（T-TAC）後継事業より平良 悟子技術補佐

員が研修として同行しました。

研修期間中は、ロチェスター工科大学および国立聾工科大学の中の聴覚障害学生支援サービスについて、詳しい説明を受けたほか、現地のろう・難聴学生とバディグループを構成し、同年代の同じような専門で学習している学生達が履修している授業に同行・参加させてもらったり、彼らの大学生活をともに体験することで、短期の留学体験を行うことができました。また、学生達は現地の授業で日本人ろう・難聴者としての考え方を説明したり、アジア系ろう・難聴学生が集う場において日本文化や日本手話についてのワークショップを担当する等、積極的な情報発信にも貢献しました。

（国際交流委員会委員 白澤 麻弓）



日本文化について説明する学生達



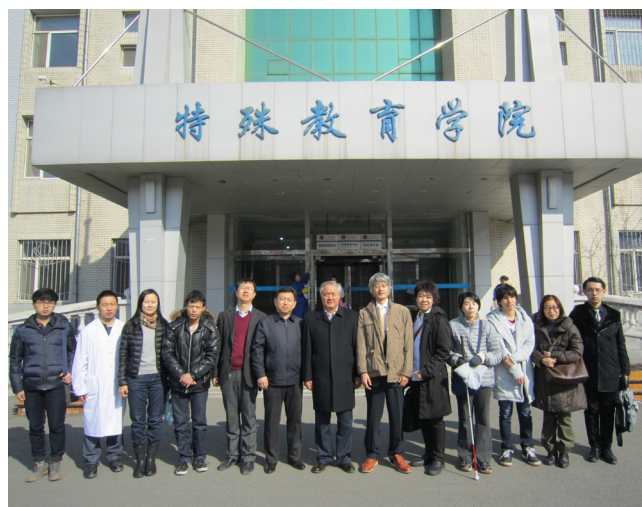
国立聾工科大学長らとの集合写真

長春大学（中国）

3月14日 火曜日から3月24日 金曜日にかけて、平成28年度国際交流委員会事業の一環として、大学間交流締結機関である長春大学（中国）を訪問し、授業参加等の研修を行いました。参加者は、担当教員の佐々木健准教授、周防 佐知江特任研究員及び、参加希望者の中から選抜された派遣学生の安藤美紀さん、飯塚智史くん、中尾隆太くん、與儀元気くん（以上、保健科学部保健学科鍼灸学専攻・3年）、川淵大成くん（同学科専攻・2年）の計7名です。

長春大学では、特殊教育学院の専門科目を受講、図書館等の大学施設の見学、学外実習先である長春中医薬大学の見学、また、旧満州国の遺構の見学や、両大学の学生交流を積極的に行い、3月21日 火曜日には派遣学生全員がそれぞれ長春大学特殊教育学院の王愛国名誉院長をはじめとする教職員と学生等を前に研修成果の報告を行いました。その後、上海に移動し上海中医薬博物館と感智盲人保健会所の見学と施術体験を経て帰国しました。

（国際交流委員会委員 佐々木 健）



長春大学特殊教育学院前での集合写真

バウマン・モスクワ工科大学（ロシア）

3月9日 木曜日から3月18日 土曜日にかけて、平成28年度国際交流委員会事業の一環として、大学間交流締結機関であるバウマン・モスクワ工科大学(BMSTU)(モスクワ市)を訪問し、授業参加等の研修を行いました。参加者は稲葉基准教授、丹野 格准教授、聴覚障害系支援教育支援・大学院系の赤澤遼子さん及び、参加希望者の中から選抜された派遣学生の東丸円香さん、渡辺崇人さん(いずれも産業技術学部産業情報学科・2年)の計5名です。

BMSTUでは「離散数学」、「科学論文の読み方」、「ロシア語」などの講義の受講し、同大学主催の学生のための科学技術コンペティション“Step into the Future”で発表を行いました。

その他、ロシアの特別支援学校、聴覚障害者視覚障害者支援基金(Connection)、障害者支援技術プロジェクトPOLYGONの見学や、BMSTUが特別メニューとして準備してくださった文化体験プログラムや学生同士の交流プロ

グラムに参加するなど充実した内容のBMSTU研修となりました。

(国際交流委員会委員 丹野 格)



集合写真

● 海外研修報告会を実施

4月12日 水曜日、春日キャンパス学生会館講堂において、平成28年度に実施した海外研修事業のうち中国研修、語学研修(フィリピン・セブ島)について、派遣学生による報告会が開催されました。中国研修(平成29年3月14日～24日)については、保健科学部保健学科鍼灸学専攻3年の安藤美紀さん、飯塚智史さん、中尾隆太さん、輿儀元気さん、同2年の川渕大成さんから報告があり、訪問先の長春大学特殊教育学院等で学生同士の実技交流や、中国独自の技術を体験するなど、非常に貴重な経験となったようです。

今回初の試みとなった語学研修(フィリピン・セブ島、平成29年3月19日～25日)については、保健科学部情報システム学科3年の浅沼孝誉さん、同保健学科理学療法学専攻2年の佃沙織さんから報告があり、語学の習得に集中できる環境が整った学校内で、午前8時から午後5時までリスニングやスピーキングの授業を受けるなど、充実した経験となったようです。

5月10日 水曜日、天久保キャンパス大会議室において、平成28年度に実施した海外研修事業のうち米国東部研修、ロシア研修について、派遣学生による報告会が開催されました。米国東部研修(平成29年2月18日～28日)については、産業技術学部産業情報学科3年の大嶽翔さん、松本建身さん、同総合デザイン学科3年の田中夏希さん、安田真綺さん、技術科学研究科情報アクセシビリティ専攻2年の岡田雄佑さんから報告があり、訪問先のロチェスター工科大学・国立聾工科大学で現地学生「バディ」と一緒に行動するなど、充実した交流となったようです。

ロシア研修(平成29年3月9日～18日)については、産業技術学部産業情報学科3年の東丸円香さん、渡辺崇人さんから報告があり、訪問先のバウマンモスクワ工科大学で学生同士の交流や、研究発表会への参加など、充実した経験となったようです。

両報告会とも、教員と学生合わせて約50名が参加し、報告後は活発な質疑応答が行われました。

(国際交流委員会委員 西岡 知之)



報告会の様子

● 全日本スーパーフォーミュラ選手権 2017 が開幕

本学が昨シーズンからスポンサーシップ契約をしているKCMGのフォーミュラカーが全日本スーパーフォーミュラ選手権の開幕戦(三重県鈴鹿サーキット)に出走しました。スーパーフォーミュラとは日本の自動車レースの最高峰で、F1と同等の性能を持ったレーシングカーです。今シーズン最も注目すべき点は同チームのドライバーとしてF1で大活躍した小林可夢偉選手を迎えたことです。写真(左)はサーキット走行中のKCMG(カーナンバー18)のマシンです。車体側面(左右2箇所)にコミュニケーションマークと大学名が入っています。

現在レーシングチームKCMGと本学とは技術協力関係

にあり、今後も学生を含めた交流活動などを行っていく予定です。自動車技術は日本の基幹産業の一つであり、本学から多くの卒業生が自動車メーカーや関連企業に技術者として就職しています。この活動を通じてクルマやモータースポーツに興味を持つきっかけになればと思います。レース結果は9位完走(出走19台)でした。今シーズンは九州から東北にいたる日本各地のサーキットで残り6戦開催予定ですので、サーキットへ行く機会があれば是非応援をお願いします。今後の活躍を期待しています。

(産業情報学科 下笠 賢二)



KCMGのフォーミュラカー

● 部局を越えたテーマ別教育研究推進のためのディスカッションを実施

3月2日 木曜日、天久保キャンパス大会議室において、学術・社会貢献推進委員会の事業として「平成28年度部局を越えたテーマ別教育研究推進のためのディスカッション」を開催しました。この会は、教員各位の教育研究活動の高度化ならびに新たな教育活動の創出を目的とし、各部局の専門分野の方に話題提供を頂きディスカッションの場を提供するものです。平成25年度に始まり4回目の実施となる今回は、「技大に着任し数年経ち思うこと」をテーマとしました。本学の5名の教職員をファシリテータと話題提供者として、ディスカッションを行いました。

- ファシリテータ：倉田 成人・産業技術学部・教授
- 話題提供者1：白石 優旗・産業技術学部・講師「How to Make NTUT a Better Place」
- 話題提供者2：脇中 起余子・障害者高等教育研究支援センター・准教授「情報保障に関して思うこと」
- 話題提供者3：嶋村 幸仁・保健科学部・准教授「ビジネス知識で大学発ベンチャーを!!」
- 話題提供者4：小林 ゆきの・障害者高等教育研究支援センター・講師「産前産後・育児休業を取得して」

4名の教員からの話題提供の後、46名の参加者と本テーマに関するディスカッションが行われました。短時間では

ありましたが、学長を交えた活発な議論が行われ、本学の教育研究や管理運営について情報交換、共有がなされました。

(学術・社会貢献推進委員会 若月 大輔、岡崎 彰夫、松下 昌之助)



発表する白石講師

● 東西医学統合医療センター平成29年度研修生入所式を挙行

4月3日月曜日、東西医学統合医療センターでは平成29年度の新研修生の入所式が行われました。本年度は本学卒業生を含む7名の研修生が入所しました。今後2年間、東西医学統合医療センターの施術(鍼灸あんまマッサージ指圧)部門で臨床を中心とした研修を行います。5月までは問診や検査の技術を復習したり、鍼灸施術はもとより医師の診療やリハビリテーションの見学をしたり、診療放射線や臨床検査に関する説明や本学教員のナイトセミナーなど、多くのプログラムを通じて臨床に向けた技術と知識の習得を目指します。また、4月から始まった大学学生の授業である臨床実習では、本学学生とも出会い、お互いに刺激を受けながら臨床現場で学んでいきます。研修生と本学学生が切磋琢磨して、大切なことを学んで欲しいと思います。

(東西医学統合医療センター 櫻庭 陽)



入所式の様子

● アジア諸国社会福祉招聘事業の視察団が本学を見学

4月7日 金曜日、アジア諸国社会福祉招聘事業の視察団が本学春日キャンパスを見学されました。今回の見学は、公益財団法人アジア福祉教育財団が平成29年度アジア諸国社会福祉招聘事業としてバングラデシュ、インドネシア、パキスタン、ベトナムの4か国から社会福祉関係者を招聘し日本で研修を行っていたもので、日本で唯一の聴覚障害者、視覚障害者のための大学である本学を視察されたものです。

大越学長より、歓迎の挨拶の後、本学概要の説明を行いました。その後、体育館、図書館、東西医学統合医療センターをご見学いただき、視覚障害学生のための設備や機器等をご覧いただきました。

(企画課企画・広報係)



大越学長による説明の様子



見学の様子

● 東西医学統合医療センターのご案内

東西医学統合医療センターは、医師による質の高い診療と鍼灸・あんま・マッサージ・指圧治療ならびに教育・研究を行い、地域医療に貢献することを目的としています。診療組織としては、保険診療を行う診療部門と、鍼灸・あんま・マッサージ・指圧の施術部門がそれぞれ独立していますが、機能的に統合したサービスの提供をめざしています。

【診療科目】

内科、漢方内科、腎臓内科、循環器内科、精神科※要予約、整形外科、脳神経外科、内分泌・代謝内科、リハビリテーション科、放射線科

【施術部門】

鍼灸、あんま・マッサージ・指圧
 施術部門受付 TEL：029-858-9593

受付時間	月	火	水	木	金	土・日・祝
9:00～11:30	●	●	●	●	●	
13:00～15:30	●	●	●	●	●	

受付時間	月	火	水	木	金	土・日・祝
9:00～11:00	●	●	●	●	●	
13:00～15:30	●	●	●	●	●	

※各診療科、施術は曜日により異なります。HP または
 お電話でご確認ください。

〒 305-8521
 つくば市春日 4 丁目 12-7
 TEL：029-858-9590
<http://www.k.tsukuba-tech.ac.jp/cl/>



● 友だち登録して技大の情報をゲット!



LINE@
 はじめました
@tsukuba-tech

オープンキャンパスや授業見学会など、
 入試に関する情報や在学生の活躍など
 技大の最新情報をお届けします

お友達登録はこちら

QRコードから



- ① 友だち追加
- ② QRコード
- ③ 左のQRコードを読み取る

ID検索から

- ① 検索
- ② @tsukuba-tech を入力

